

【発行】平成28年6月21日 宮城県地域包括ケア推進協議会
【事務局】宮城県保健福祉部長寿社会政策課

INDEX

- ★宮城県地域包括ケア推進協議会総会を開催しました
- ★合同入職式を開催しました

宮城県地域包括ケア推進協議会総会を開催しました

平成28年6月9日（木）に、TKPガーデンシティ仙台（アエル21階）において、宮城県地域包括ケア推進協議会総会を開催しました。

◆協議会会長 宮城県知事 村井嘉浩 挨拶

今年度は、新たな参画団体を得て、引き続き「アクションプラン」に基づき、各専門委員会において、連携・協働による取組を一層推進いただき、医療・介護・予防・住まい・生活支援の各サービスが一体的に提供される地域包括ケア体制を構築していく市町村に対し、より具体的で効果的な支援につなげていきたいと考えているところです。

県としても、市町村の積極的な支援に取り組んで参りたいと考えております。本日お集まりの皆様にも、各地域で主体的に取組を進めていただきますよう御協力をお願いします。



■プレゼンテーション（宮城県の取組と事例報告）

宮城県の地域包括ケア体制構築の推進に関して、「地域包括ケア体制の構築に向けて～宮城県の取組と現場での実践から～」として、宮城県保健福祉部千葉次長からプレゼンテーションをさせていただきました。

宮城県の平成27年度の主な取組内容と平成28年度の実施体制についての説明の後、気仙沼地域の取組事例などの報告がされました。



～～プレゼンから抜粋～～

今後の人材確保は、やる気のある職員がやりがいを持って働くことが出来る職場環境を実現し、今いる職員が定着するようにするということが重要です。

村井知事がよく発する言葉に、「民の力」があります。地域包括ケア体制の構築のためには、構成団体の連携・取組は元より、現場で多職種連携に取り組む中堅・若手専門職を見守る・承認する・応援する、その活動を後押ししていくことも「地域包括ケア」を進めて行くための大きな力になるのではないかと、それこそが、

宮城オリジナルの「地域包括ケア体制の構築」につながるのではないかと考えています。

■議 事

【平成28年度運営方針について】

以下の内容について、承認されました。この方針に基づき、団体間の連携をさらに強めてまいりたいと思います。

〜〜運営方針〜〜

- アクションプランの具体的な取組に関連した県事業の進捗状況を把握するとともに、参画団体の主体による取組の把握、集約を行う。
- 第2ステージに向けて、市町村の課題とアクションプランの具体的な取組との整合性を図る。

〜〜運営方針に基づいた取組内容〜〜

- 参画団体の取組についての情報共有、意見交換を専門委員会で行う。
- 市町村への実態調査及び専門委員会での課題聴取等により、参画団体がどのような方策で市町村支援が可能か検討を行う。
- 新事業を掘り起こしていくとともに、修正が必要な事業及び不足している事業を抽出し、県事業及び参画団体の主体による取組の充実を図り、推進していく。

■報告事項

参画団体は49団体に！！ 新たに次の3団体が参画されました。よろしくお願いします！！

◆宮城県医療ソーシャルワーカー協会（富山稔会長様）

主に病院の医療ソーシャルワーカーが所属している協会です。病院と地域を結ぶというところで、お役に立てれば、と思っております。

◆公益社団法人 宮城県柔道整復師会（櫻田裕会長様）

柔道整復師、接骨院、整骨院からなる団体です。運動器の傷みに対して、いくらかでもお手伝いができるかなと考えております。

◆一般社団法人 パーソナルサポートセンター（立岡学学業務執行常務理事様）

生活困窮者の自立支援、被災者の転居支援などの活動をしています。その中で高齢者の方がしんどいような状況に応じて、何かしらできることがあったらやっていきたいと思っています。

■皆様から御挨拶を頂戴しました

◆協議会副会長 宮城県医師会会長 嘉数研二 様

協議会が設立されて一年経過し、どのように進んできたか、各地域や各関係団体の取組はどうだったか、地域住民や関係機関の理解・協力そしてその連携はどうなってきたかがポイント。

宮城県医師会は様々な事業を展開してきましたが、その中で、「人」「金」「医師のリーダーシップ」「医療と介護の連携」「市町村」「地域医療構想」などいろいろな課題が取り上げられています。



◆協議会副会長 宮城県社会福祉協議会会長 鈴木隆一 様

構成団体それぞれの役割というものを担いながら、主体的に行動し、そしてさらに連携と協働を一層深めながら市町村をしっかり支援していきます。

高齢者施策に限らずあらゆる地域課題の解決のためにも通じる話であり、支え、支えられながら、安心して暮らすことのできるまちづくりの作業だと思っています。

◆宮城県市長会会長 仙台市長 奥山恵美子 様

地域包括ケアの問題というのは、市にとっても大変難しい問題。県内13市もそれぞれ来年4月に向けて新総合事業の準備をしているところで、仙台市も職員を増員するなどしていますが、地域の温度差、資源の偏在など難しいところがあります。今日の総会が先行事例を共有する場になり有意義なものになればと思います。





◆宮城県町村会会長 蔵王町長 村上英人様

高齢化が進行していく中で、地域包括ケアシステムは行政を担う我々に課せられた宿命であり、これまで以上に本腰を上げて取り組まなければならない。

町村会としても、関係団体の御支援をいただきながら精力的に知恵を結集しなければならないと思っております。

■村井知事からのコメントです

人と人の繋がりを作ってみんなで動いていく。すると問題点が出てきて解決策も見いだされます。

肝要なのは、この協議会で人間関係を作り、組織のトップの方たちがそれを各組織に浸透させ、今度は横の繋がりを作っていくこと。これが非常に大事だと思っています。

県がやれることというのはどうしても限られていて、県自体がなかなかプレーヤーになれないわけです。

市町村や関係団体のいろいろな組織に有機的に稼動していただいてプレーヤーとなっていたいただかなければ、この包括ケアは実現できないと思っています。

このままでは宮城県の医療・介護・福祉が崩壊してしまうのではないかと、そのくらい非常に大きな危機感を持っておりまして、ここから一步踏み出して、みんな協力して手を携えて、この課題を解決していかなければ、どんどん暗い方向に進んでしまいます。

どうか皆様のそれぞれの組織において、県の取組を紹介するだけでなく、是非実際一人一人に行動を起こしていただけるような音頭を取っていただきますようよろしくお願い申し上げます。

宮城県初の介護職員合同入職式を開催しました

～介護人材確保専門委員会から～

県内の介護施設に就職し、初めて介護に従事する職員を対象とした合同入職式を5月17日(火曜日)に宮城県庁で開催し185名の入職者の方々に参加いただきました。

この合同入職式は、人材確保が難しい高齢者福祉の現場で働く新入職員に、仕事に対する意識やモチベーションを高めてもらい、介護職のイメージアップと離職防止を図るため、宮城県介護人材確保協議会(介護人材確保専門委員会)が主催となり、県内で初めて行われたものです。

村井知事からは、「ぜひこの機会に横のネットワークを構築して!」「将来リーダーとして活躍できるよう目標と熱意を持って!」「仕事の魅力を内外に大きくアピール!」と激励の言葉を述べていただきました。

介護人材確保協議会(介護人材確保専門委員会)は県と連携し、介護のイメージアップ、職員のスキルアップ、職場環境改善等に向けて全力で取り組んでいきます。

知事メッセージカード
素志貫徹

常に志を抱き、懸命に為すべき事を為すならば、どんな困難に出会っても道は必ず開けてきます。成功の要諦は、成功するまであきらめずに続けることにあるのです。



集合写真



また、多様な人材の参入促進の一環として、30分ほどのPRビデオ「ケアヒーローズ」を作成しました。5人の介護職員を中心に介護人材確保のやりがいと魅力を存分に伝えていただいている内容になっています。またこのために作詞したテーマソング「笑顔の花が咲く」も収録されています。

こちらは後日、皆様に送付予定です。

今後、協議会構成団体の取組を紹介させていただき
たいので、是非情報をお寄せください!!

問い合わせ先 **ご意見ご感想をお寄せください**

事務局：宮城県保健福祉部長寿社会政策課地域包括ケア推進班
電話：022-211-2552 FAX：022-211-2596 E-mail：choujuc3@pref.miyagi.jp